

# 概 要

## 1 福井県総人口 767,742 人（令和元年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、令和元年 10 月 1 日現在 767,742 人となり、平成 30 年 10 月 1 日から令和元年 9 月 30 日までの 1 年間に 5,989 人減少した。

全国総人口は 12,614 万人（総務省「人口推計」令和元年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.61% である。また、本県の面積は 4,190.52 k m<sup>2</sup>（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和元年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 k m<sup>2</sup> 当たり 183.2 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、令和元年は前年と比べ△0.77%と、20 年連続の減少となっている。

図 1 総人口・人口増減率の推移（昭和 40 年～令和元年）

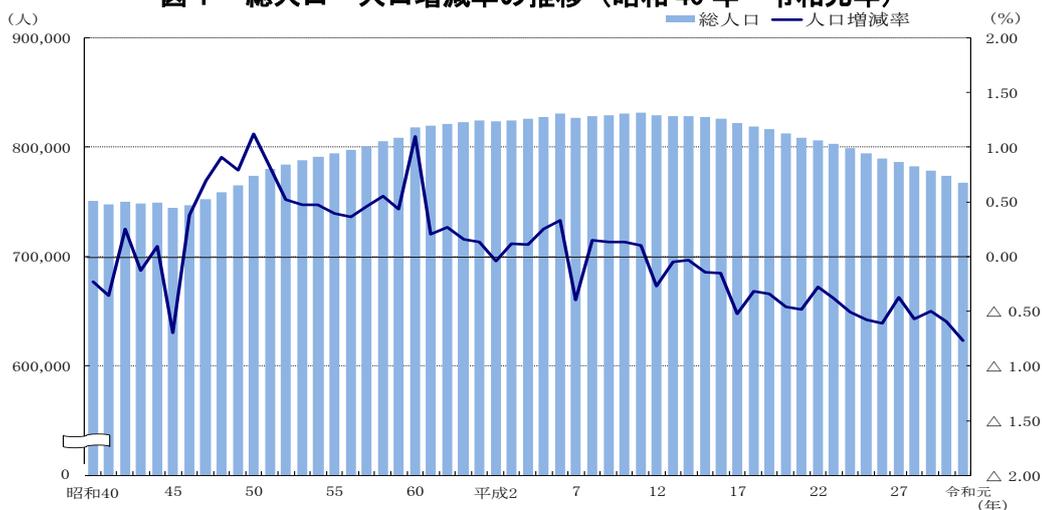


表 1 人口の推移（平成元年～令和元年）

（単位：人、%）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	...
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,448
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436

【※は国勢調査年】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

### (1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は5,571人となり、前年と比べ252人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は9,436人で、前年に比べ25人の増加となり、増加傾向が続いている。この結果、自然増減数は3,865人の減少となり、平成16年以降16年連続の減少となっている。

### (2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和25年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成13年以降社会減少が続いている。令和元年の県外転入者は13,636人、県外転出者は15,760人となっており、この結果2,124人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは石川県の1,216人であり、次いで大阪府1,039人、愛知県851人となっている。また、県外転出で最も多いのは東京都の1,547人であり、次いで石川県1,518人、大阪府1,445人となっている。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和元年）

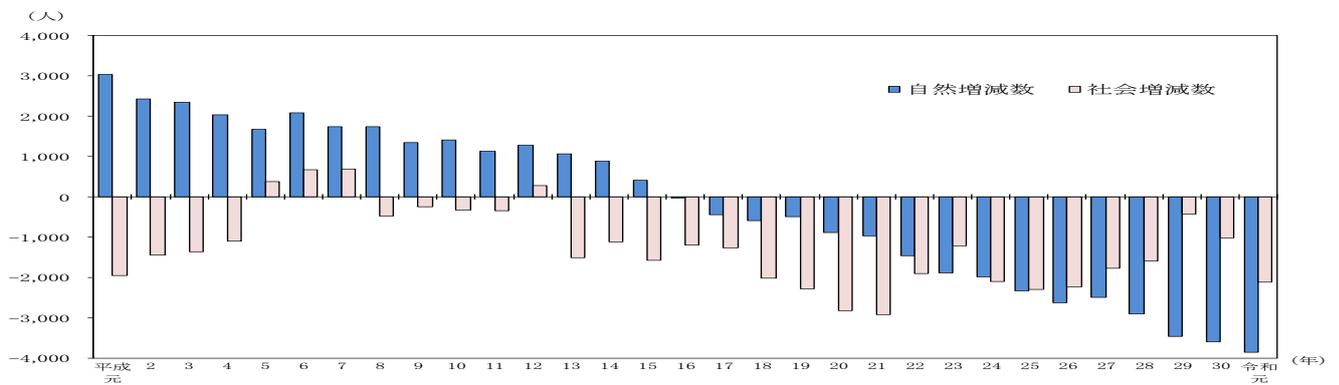
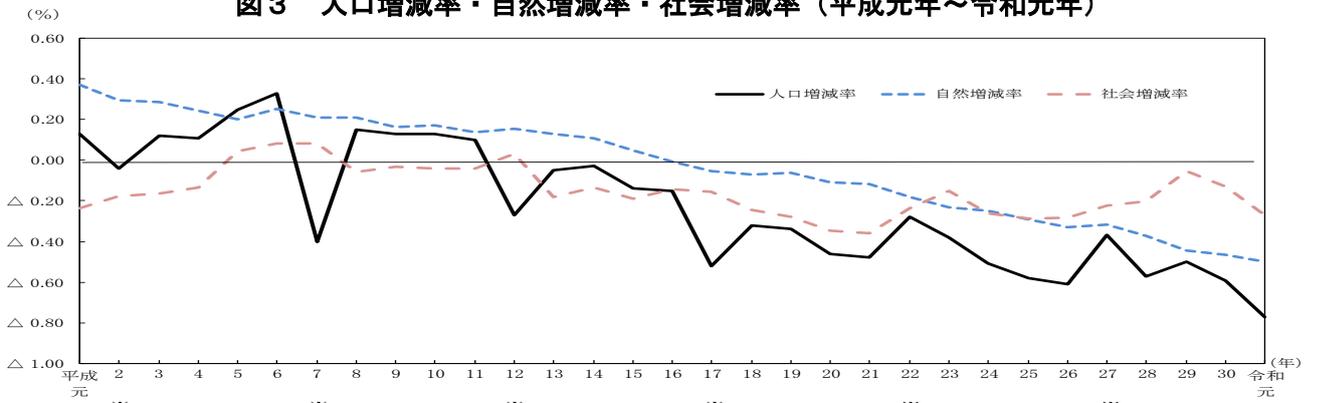


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和元年）



(注) 国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。【※は国勢調査年】

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和元年）

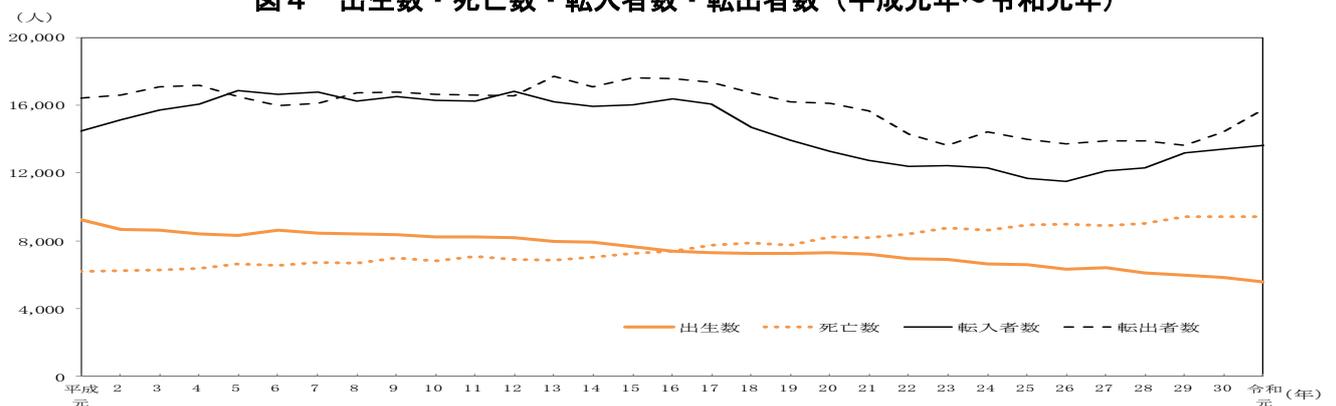


図5 総人口の推移（平成30年10月～令和元年10月）

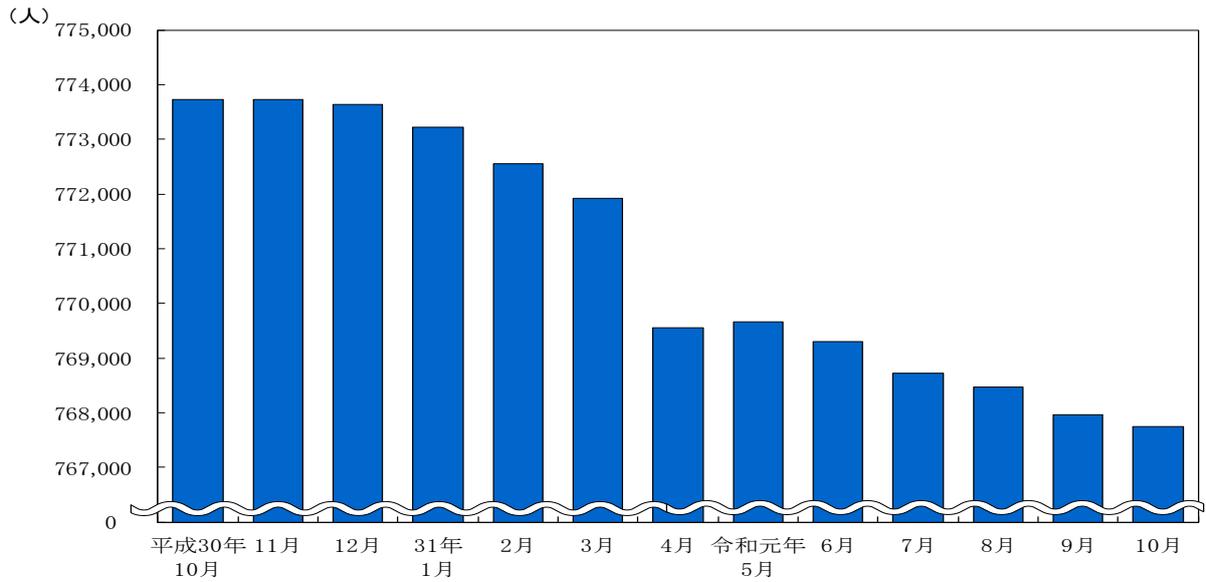


図6 自然増減数・社会増減数（平成30年10月～令和元年9月）

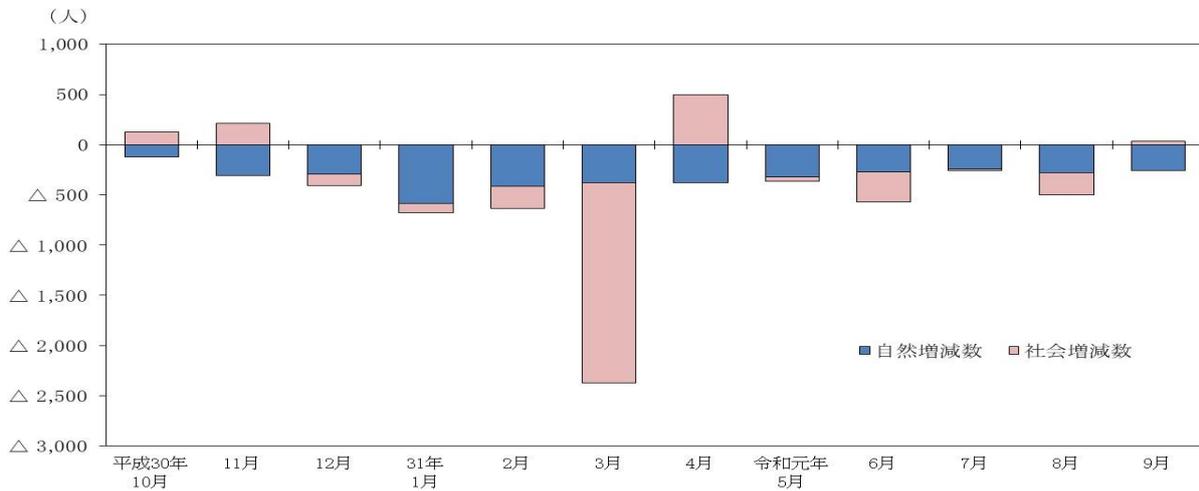


表2 月別人口・移動者数（平成30年10月～令和元年10月）

(単位:人)								
月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
平成30年10月	773,731	4	△ 123	601	724	127	1,151	1,024
11月	773,735	△ 97	△ 306	454	760	209	1,058	849
12月	773,638	△ 406	△ 297	499	796	△ 109	749	858
平成31年1月	773,232	△ 681	△ 582	491	1,073	△ 99	802	901
2月	772,551	△ 633	△ 416	385	801	△ 217	765	982
3月	771,918	△ 2,370	△ 382	409	791	△ 1,988	2,007	3,995
4月	769,548	114	△ 380	376	756	494	2,010	1,516
令和元年5月	769,662	△ 362	△ 325	499	824	△ 37	1,028	1,065
6月	769,300	△ 572	△ 275	429	704	△ 297	818	1,115
7月	768,728	△ 258	△ 241	504	745	△ 17	1,163	1,180
8月	768,470	△ 500	△ 277	446	723	△ 223	942	1,165
9月	767,970	△ 228	△ 261	478	739	33	1,143	1,110
10月	767,742	-	-	-	-	-	-	-
総数		△ 5,989	△ 3,865	5,571	9,436	△ 2,124	13,636	15,760

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（平成30年10月～令和元年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	5,571	2,895	2,676	12	9	3	730	370	360	709	365	344
5～9	—	—	—	2	1	1	329	164	165	403	200	203
10～14	—	—	—	5	2	3	187	108	79	220	114	106
15～19	—	—	—	5	4	1	844	419	425	896	489	407
20～24	—	—	—	8	6	2	3,068	1,753	1,315	4,092	2,143	1,949
25～29	—	—	—	7	5	2	2,686	1,479	1,207	2,923	1,530	1,393
30～34	—	—	—	19	13	6	1,873	994	879	2,016	1,039	977
35～39	—	—	—	29	16	13	1,107	580	527	1,212	628	584
40～44	—	—	—	39	24	15	818	497	321	967	540	427
45～49	—	—	—	69	44	25	636	406	230	762	469	293
50～54	—	—	—	94	53	41	446	310	136	482	322	160
55～59	—	—	—	157	101	56	312	215	97	374	247	127
60～64	—	—	—	258	186	72	180	123	57	196	127	69
65～69	—	—	—	492	346	146	142	91	51	154	92	62
70～74	—	—	—	615	418	197	92	48	44	91	40	51
75～79	—	—	—	1,023	676	347	67	30	37	80	28	52
80～84	—	—	—	1,455	860	595	48	19	29	77	25	52
85～89	—	—	—	2,050	1,021	1,029	45	15	30	65	13	52
90以上	—	—	—	3,097	972	2,125	26	6	20	41	8	33
総数	5,571	2,895	2,676	9,436	4,757	4,679	13,636	7,627	6,009	15,760	8,419	7,341

図7-1 5歳階級別県外転入者数

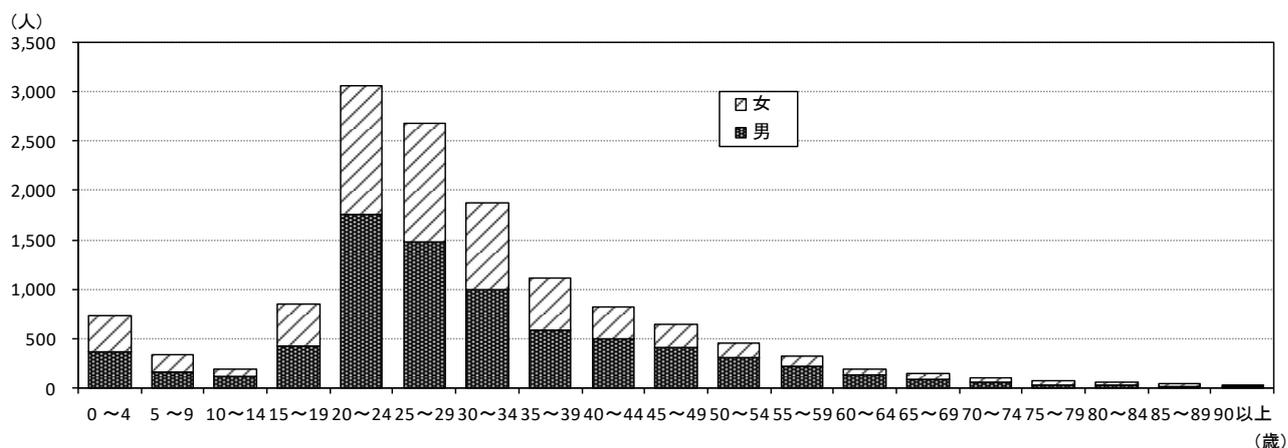


図7-2 5歳階級別県外転出者数

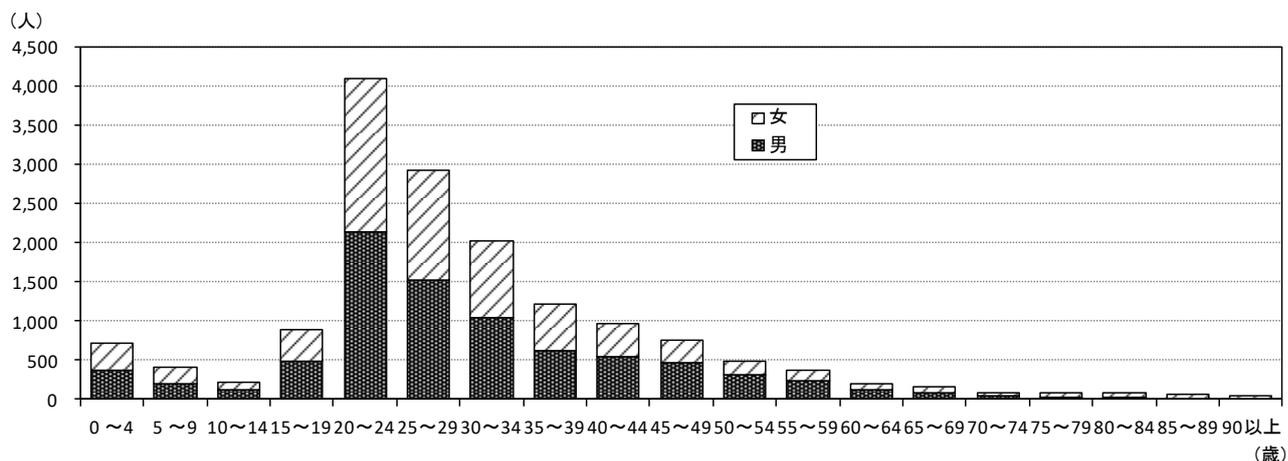
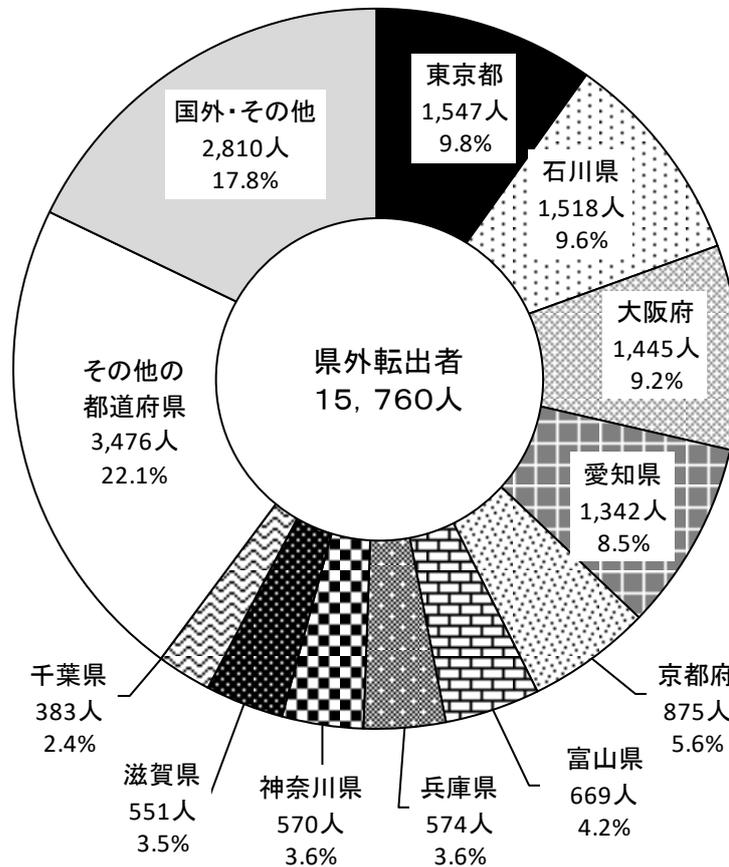
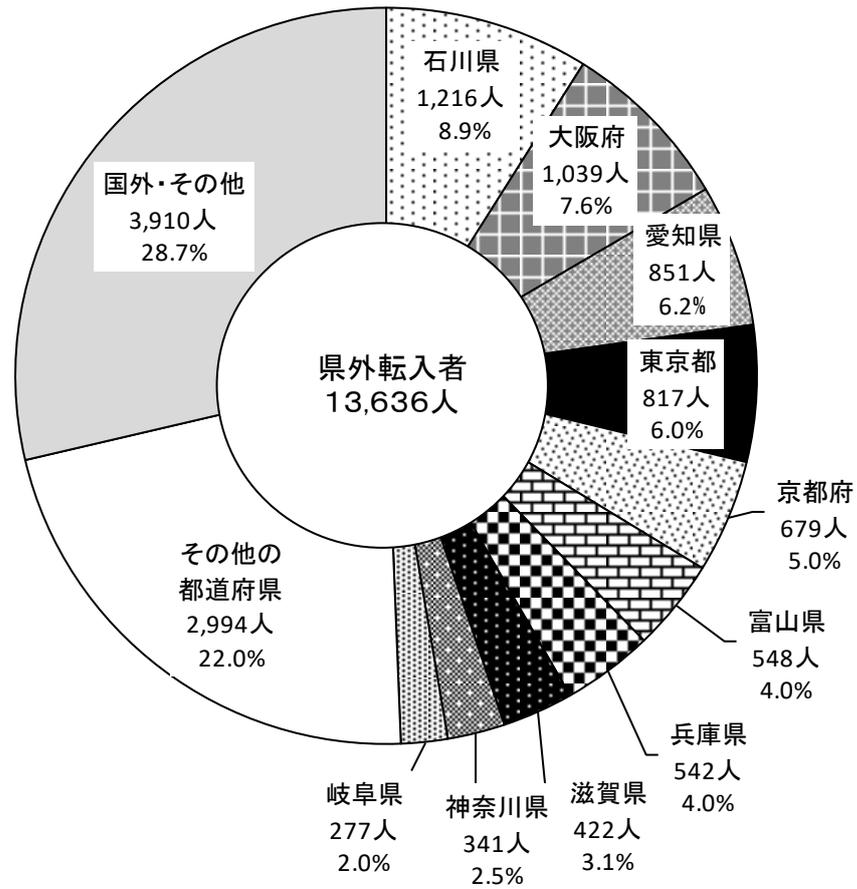


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



## 2 年齢・男女別人口

### (1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、65～69歳が56,091人と最も多く、次いで45～49歳54,268人、70～74歳53,612人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現70～72歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現45～48歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は67～72歳と43～49歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が373,136人、女性が394,606人であり、女性が男性より21,470人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.6となっている。

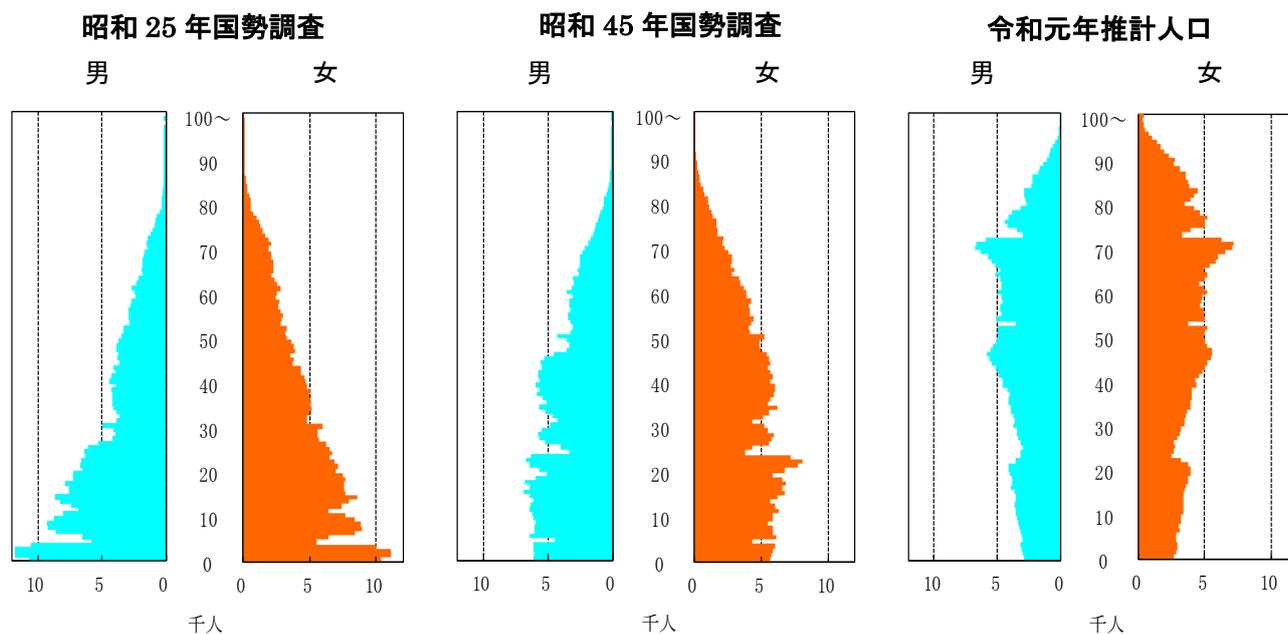
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比	年齢	男女計	男	女	性比
0～4	29,407	15,108	14,299	105.7	50～54	47,586	23,607	23,979	98.4
5～9	31,952	16,399	15,553	105.4	55～59	47,752	23,605	24,147	97.8
10～14	35,048	17,971	17,077	105.2	60～64	49,252	24,277	24,975	97.2
15～19	37,821	19,263	18,558	103.8	65～69	56,091	27,382	28,709	95.4
20～24	34,184	18,130	16,054	112.9	70～74	53,612	25,801	27,811	92.8
25～29	31,239	16,430	14,809	110.9	75～79	43,977	19,832	24,145	82.1
30～34	37,223	19,020	18,203	104.5	80～84	33,601	13,638	19,963	68.3
35～39	41,569	21,078	20,491	102.9	85～89	25,890	9,194	16,696	55.1
40～44	49,004	25,004	24,000	104.2	90～	18,329	4,562	13,767	33.1
45～49	54,268	27,400	26,868	102.0	合計	767,742	373,136	394,606	94.6

(注)年齢不詳 男女計9,937人、男5,435人、女4,502人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



## (2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和元年の年少人口（0～14歳）は96,407人（12.7%）で、前年に比べて0.1ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は429,898人（56.7%）であり、前年と比べて0.3ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は231,500人（30.5%）であり、前年と比べて0.3ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は240.1となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和元年）

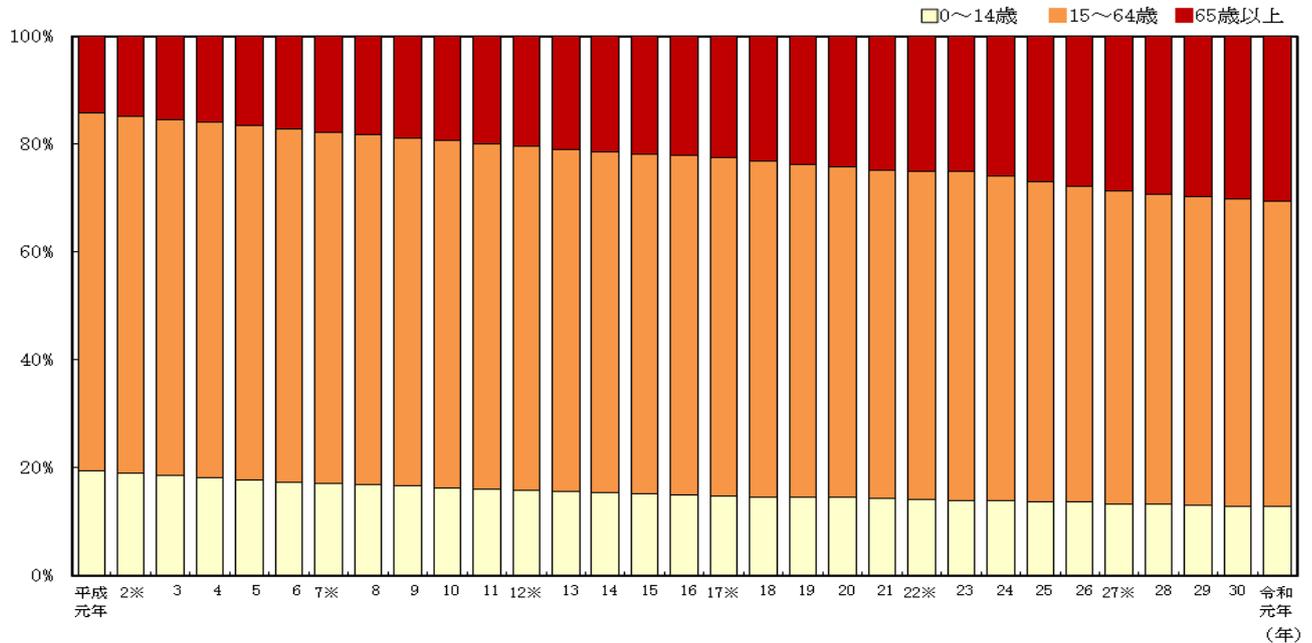


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和元年）

(単位: 人、%)

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

【※は国勢調査年】

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

### 3 世帯数 288,356 世帯（令和元年 10月1日現在）

福井県の総世帯数は 288,356 世帯であり、前年と比べ 1,964 世帯 (0.69%) 増加した。また、1 世帯当たり人員は 2.66 人であり、前年と比べ 0.04 人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図 11 世帯数の推移（平成元年～令和元年）

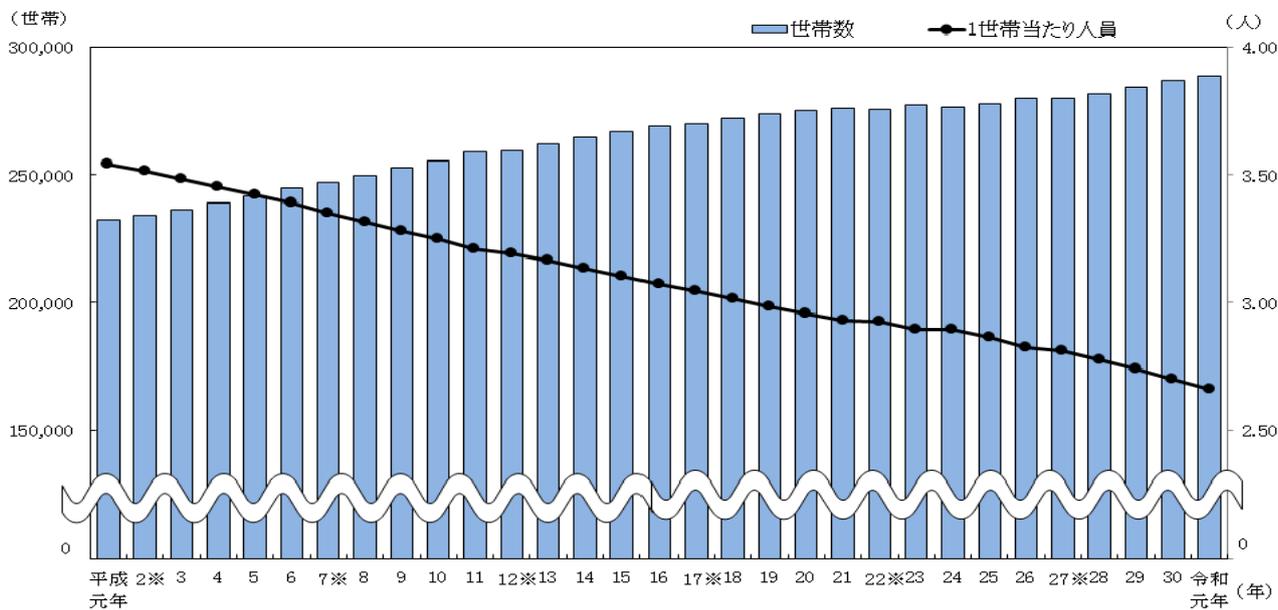


表 6 世帯数の推移（平成元年～令和元年）

(単位: 世帯、人、%)

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66

【※は国勢調査年】

## 4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 262,530 人であり、県全体の 34.2%を占める。次いで坂井市 88,795 人、越前市 79,889 人となっている。

### (1) 人口増減

すべての市町で昨年に比べ人口が減少し、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.20\%$ であり、次いで福井市 $\Delta 0.38\%$ 、おおい町 $\Delta 0.46\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 2.71\%$ であり、次いで美浜町 $\Delta 2.55\%$ 、若狭町 $\Delta 1.97\%$ となっている。

広域圏単位でみると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の $\Delta 1.77\%$ であり、次いで丹南 $\Delta 0.98\%$ となっている。

表7 地区・市町別人口および増減率

	人口	増減数	増減率
県計	767,742	$\Delta 5,989$	$\Delta 0.77$
福井地区	281,650	$\Delta 1,189$	$\Delta 0.42$
福井市	262,530	$\Delta 999$	$\Delta 0.38$
永平寺町	19,120	$\Delta 190$	$\Delta 0.98$
坂井地区	116,372	$\Delta 811$	$\Delta 0.69$
あわら市	27,577	$\Delta 303$	$\Delta 1.09$
坂井市	88,795	$\Delta 508$	$\Delta 0.57$
奥越地区	53,825	$\Delta 971$	$\Delta 1.77$
大野市	31,264	$\Delta 563$	$\Delta 1.77$
勝山市	22,561	$\Delta 408$	$\Delta 1.78$
丹南地区	181,093	$\Delta 1,785$	$\Delta 0.98$
鯖江市	68,533	$\Delta 136$	$\Delta 0.20$
越前市	79,889	$\Delta 1,049$	$\Delta 1.30$
池田町	2,365	$\Delta 66$	$\Delta 2.71$
南越前町	10,135	$\Delta 165$	$\Delta 1.60$
越前町	20,171	$\Delta 369$	$\Delta 1.80$
嶺南地区	134,802	$\Delta 1,233$	$\Delta 0.91$
敦賀市	64,474	$\Delta 456$	$\Delta 0.70$
小浜市	28,538	$\Delta 134$	$\Delta 0.47$
美浜町	9,230	$\Delta 242$	$\Delta 2.55$
高浜町	10,282	$\Delta 79$	$\Delta 0.76$
おおい町	8,067	$\Delta 37$	$\Delta 0.46$
若狭町	14,211	$\Delta 285$	$\Delta 1.97$

図12 市町別人口増減率（その1）

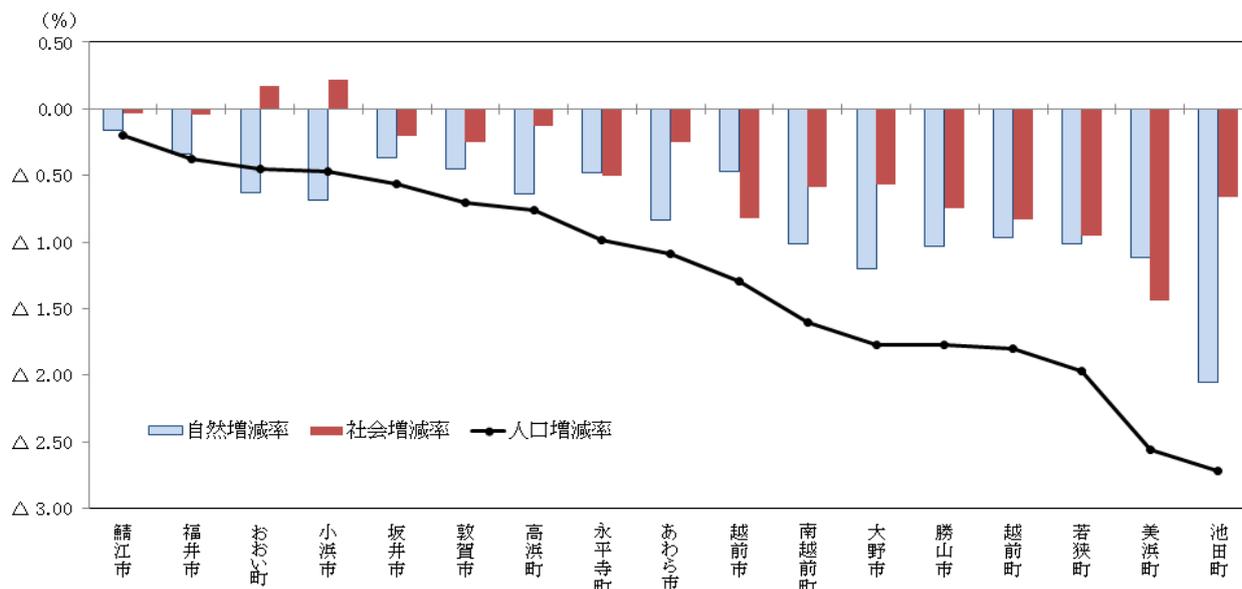
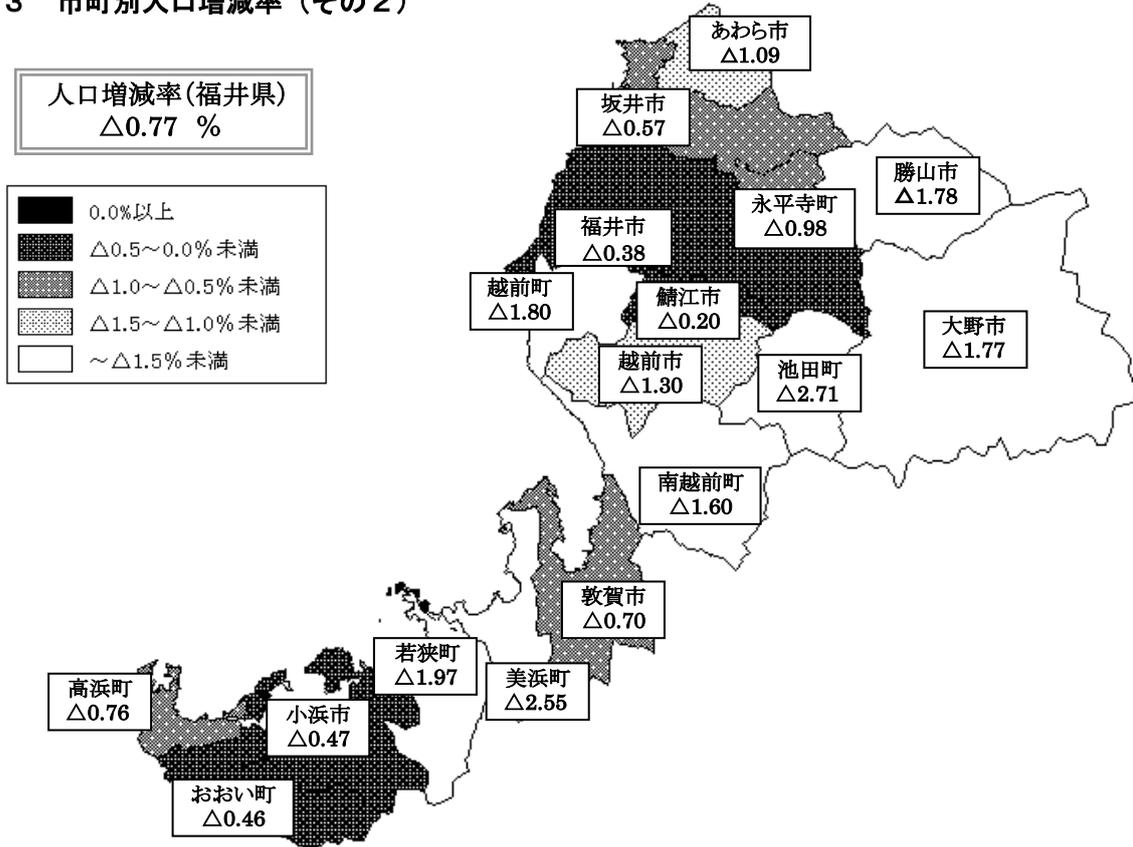


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）



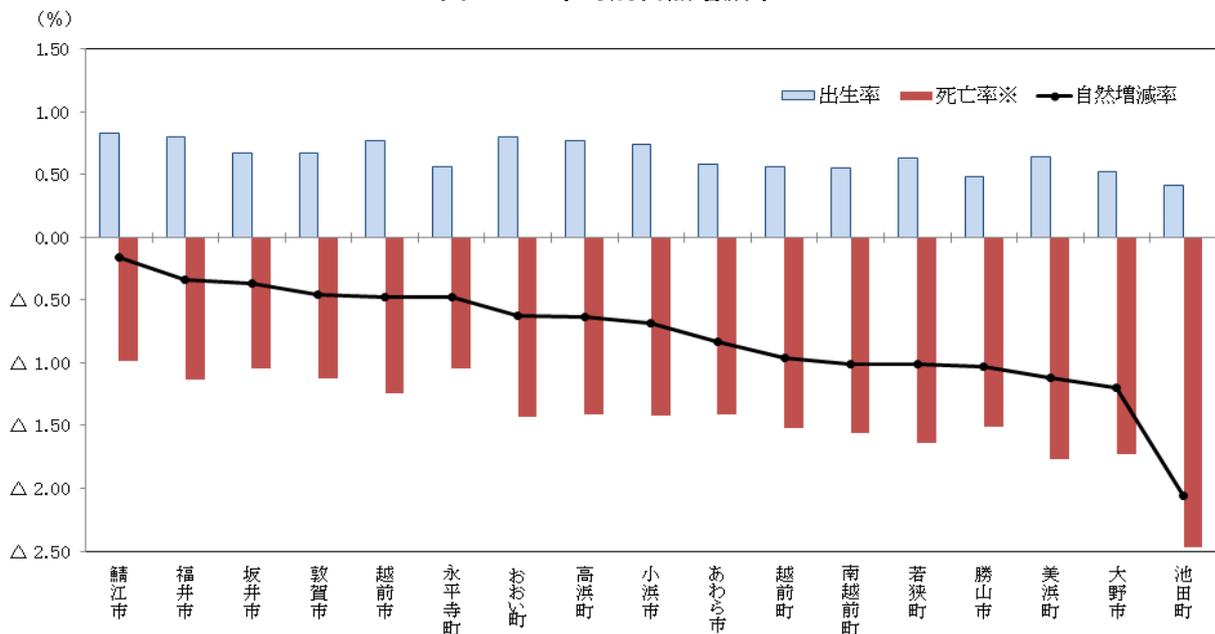
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の△0.16%であり、次いで福井市△0.34%、坂井市△0.37%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△2.06%であり、次いで大野市△1.20%、美浜町△1.12%となっている。

出生率は、鯖江市が0.83%と最も高く、次いでおおい町と福井市が0.80%、越前市と高浜町が0.77%となっている。最も低いのは池田町の0.41%であり、次いで勝山市0.48%、大野市0.52%となっている。

死亡率は、池田町が2.47%と最も高く、次いで美浜町1.76%、大野市1.72%となっている。最も低いのは鯖江市の0.98%であり、次いで坂井市1.04%、永平寺町1.05%となっている。

図 1 4 市町別自然増減率



※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

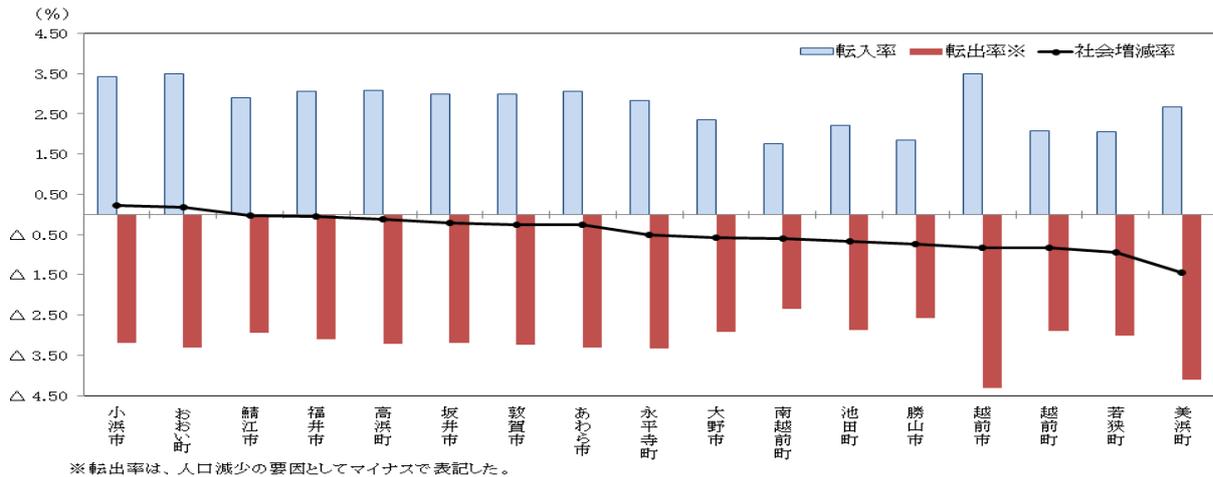
### (3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは2市町のみであり、小浜市が0.22%、次いでおおい町0.17%となった。他の15市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは美浜町の△1.44%であり、次いで若狭町△0.95%、越前町△0.83%となった。

転入率は、越前市とおおい町が3.48%と最も高く、次いで小浜市3.42%、高浜町3.09%となっている。最も低いのは南越前町の1.75%であり、次いで勝山市1.84%、若狭町と越前町が2.06%となっている。

転出率は、越前市が4.30%と最も高く、次いで美浜町4.10%、永平寺町3.34%となっている。最も低いのは南越前町の2.34%であり、次いで勝山市2.58%、池田町2.88%となっている。

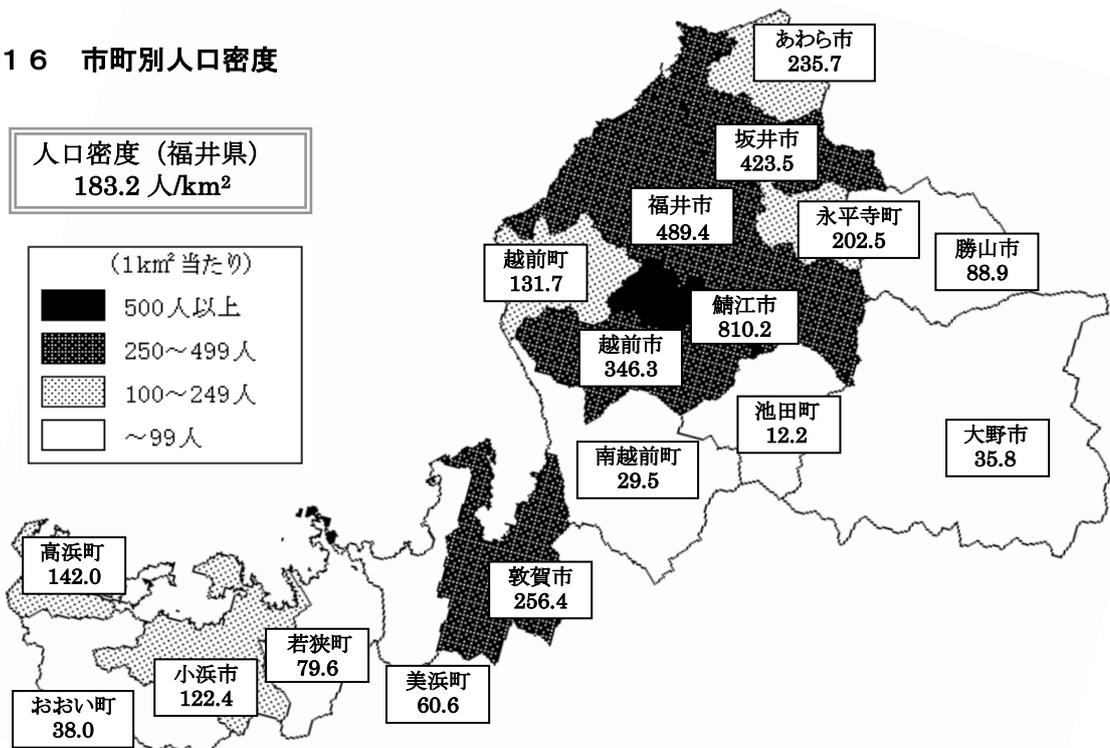
図15 市町別社会増減率



### (4) 人口密度

面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、鯖江市が810.2人であり最も高く、次いで福井市489.4人、坂井市423.5人となっている。最も低いのは池田町の12.2人であり、次いで南越前町29.5人、大野市35.8人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の14.2%であり、次いでおおい町13.9%、坂井市13.5%となっている。最も低いのは池田町の8.0%であり、次いで美浜町10.6%、大野市と勝山市が11.0%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは永平寺町の58.9%であり、次いで鯖江市58.2%、坂井市58.1%となっている。最も低いのは池田町の47.9%であり、次いで若狭町51.3%、南越前町51.8%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の44.1%であり、次いで勝山市37.1%、大野市37.0%となっている。最も低いのは鯖江市の27.6%であり、次いで坂井市28.4%、敦賀市29.0%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の552.4であり、次いで勝山市338.4、美浜町337.5となっている。最も低いのは鯖江市の193.5であり、次いで坂井市211.3、敦賀市221.5となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

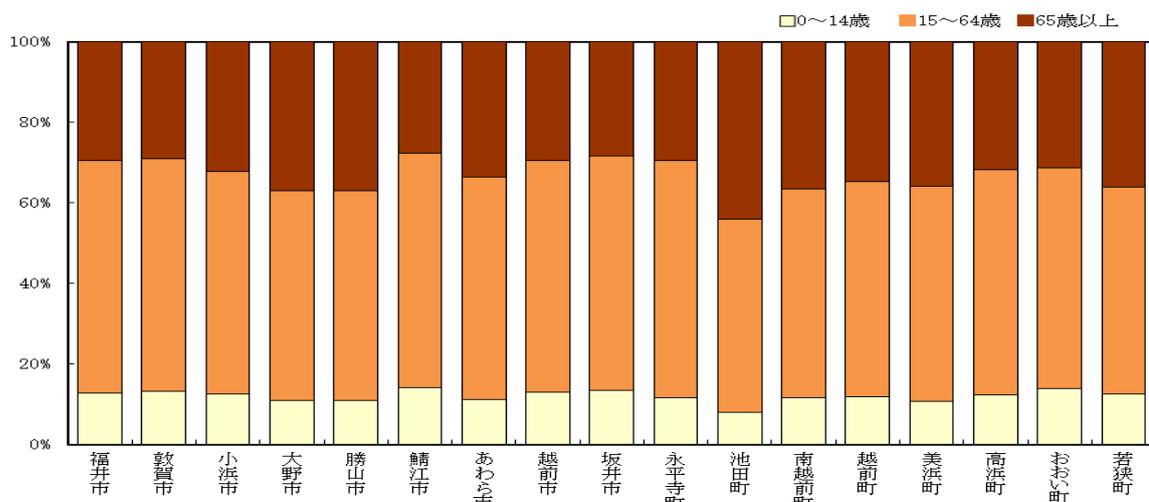
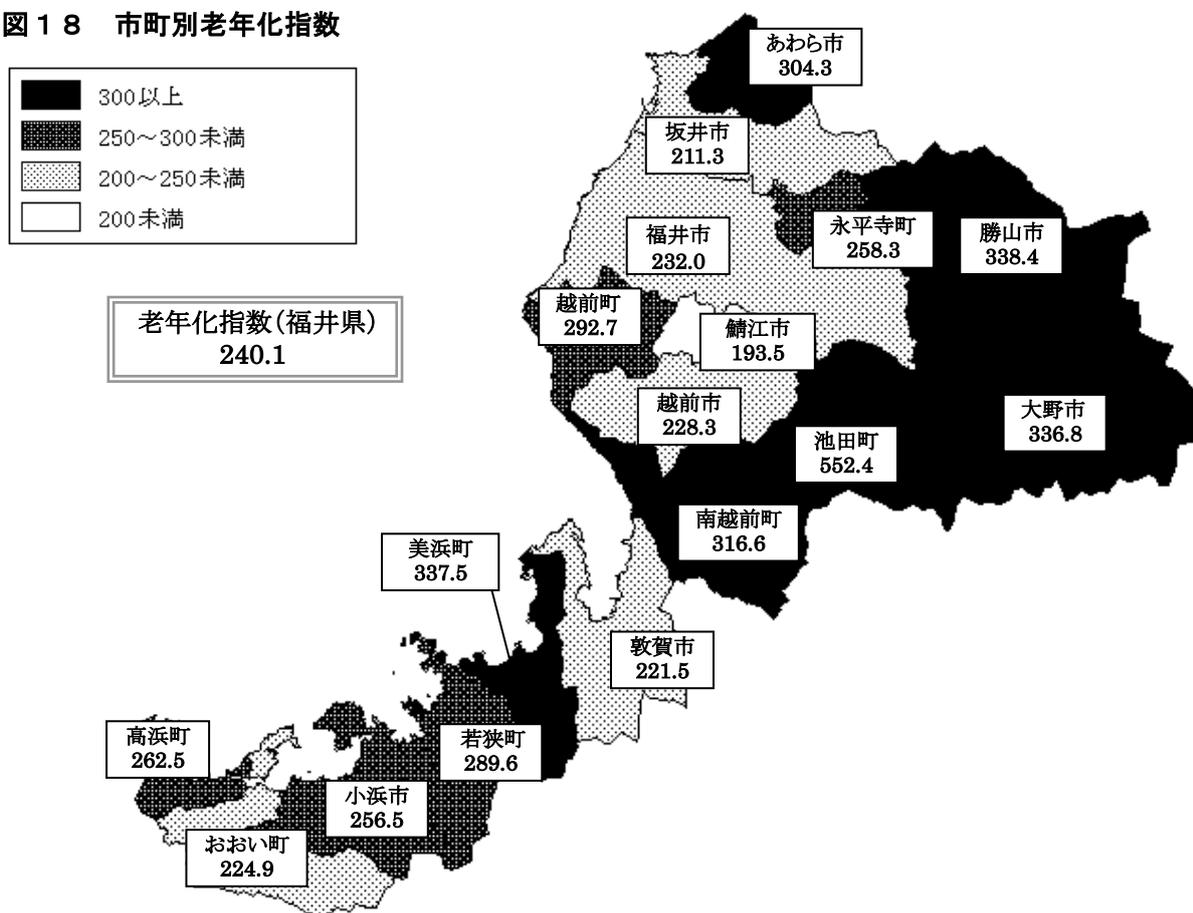


図18 市町別老年化指数



## (6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の103,954世帯であり、県全体の36.1%を占めている。次いで坂井市30,742世帯、越前市28,906世帯となっている。

増減率は、おおい町が1.24%と最も高く、次いで坂井市1.15%、小浜市1.09%となっている。最も低いのは、池田町の△0.81%であり、次いで南越前町△0.78%、美浜町△0.57%となっている。

1世帯当たり人員が最も多いのは、越前町の3.11人であり、次いで南越前町3.08人、若狭町2.98人となっている。最も少ないのは、高浜町と敦賀市の2.38人であり、次いで美浜町2.41人、おおい町2.48人となっている。

表8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県計	288,356	1,964	0.69
福井市	103,954	1,044	1.01
敦賀市	27,079	167	0.62
小浜市	11,450	124	1.09
大野市	10,792	31	0.29
勝山市	7,630	18	0.24
鯖江市	23,713	250	1.07
あわら市	9,866	55	0.56
越前市	28,906	△129	△0.44
坂井市	30,742	351	1.15
永平寺町	7,402	69	0.94
池田町	861	△7	△0.81
南越前町	3,290	△26	△0.78
越前町	6,482	△17	△0.26
美浜町	3,828	△22	△0.57
高浜町	4,328	26	0.60
おおい町	3,259	40	1.24
若狭町	4,774	△10	△0.21

図19 市町別1世帯当たり人員

